

常なる磐

つねなる いわ season II

令和 4年 1月 14日(金)

その3

◇ 白亜の校舎⑨ 思わぬトラブル…

7日から再開された外壁工事。最後に残った管理棟の工事も並行して始まり、月間工程表はご覧のようにびっしりと黒塗りの工事箇所が増えた。

先月末で 65%の完工率も今月末は 86%予定と、いよいよ完成が見えてきた。



2階足場が外れた体育館は、雨の日でも天窓から光が差し込み、以前に比べて随分明るくなった。ところが、体育館で思わぬトラブルが発生する。

4年生体育の授業後、子供たちが倉庫の雨漏りを発見。たまたま居合わせた自分に報告に来た。突然の雨が降り始めて2時間程度だったが、跳び箱は雨露をかぶっていた。急いで倉庫内の物品を運び出したのが左上の写真だ。もし気付かずにいたら、多くの器具や物品が被害を受けていただろう。

さらに雨漏り確認後、4年担任の樹神先生と4年生の子供たちが物品を倉庫から運び出してくれた。雨漏りの発見に加えて運び出し作業と、大手柄の4年生である。4年生、ほんとうにありがとう。

この雨漏り、工事の不手際ではない。工程表を見ると、まさにその日のタイミングで、古いコーキングを取り除いた後に行うコーキング予定であった。つまり、「穴の開いた傘を補修しようとしていたところに突然の雨で外出に。仕方がないので補修前の傘を使用し、ずぶぬれになった。」そんな感じである。

その後は、体育主任の樹神先生を中心に、スクールサポートスタッフの加藤さんや学習指導員の浅見先生の手伝いを得ながら濡れた器具類の復旧に力を注いでいただいた。自主的な動きと力を惜しまない協力を感謝である。

「とんだ災難だ」と思い始めた矢先、『体育倉庫から物品を全部出したら、使わないものや壊れたものが出てきました。これを機に倉庫の物品を整理します。』と教頭先生。【ピンチをチャンスに変える】この一言に全てが救われた。…そして自戒。

さて、校外からは確認できない写真を2枚ご覧いただきたい。



まずは、2階部分の足場が取り除かれ、半分だけ姿を現した体育館。



左の写真(昨年の120年記念式典)と比べると、その違いがよく分かる。特に屋根下の^{ひさし}庇の部分(赤➡)は、違いが明白だ。窓周辺の白色に見える部分も、陽光の反射のかげんで白く見えるものの、実際には経年の汚れと繁殖したコケにより、かなりくすんだ白色だった。

2枚目は、教室棟1階の南側の写真。



ネットに加え、窓を覆うマスキングにより、教室内は以前にも増して暗い。それでも窓一枚越せば、こんな姿。確認できるのも間近だ。今月末のお披露目が、楽しみでならない。